

第1回 定例研修会

日時：平成30年4月22日(日)
場所：ステーションコンファレンス東京
講師：塚原 宏泰先生



百瀬 康仁(東京都)



平成30年4月22日(日)、ステーションコンファレンス東京にて第1回定例研修会が行われました。

田中会長より開会の挨拶の後、高井貞浩先生が会員発表を行いました。

午前のセレクトドドクターによるシンポジウムのテーマは『顎堤保持、骨造成』ということで、今回のテーマが選ばれた背景を座長の佐藤博俊先生より解説していただきました。

シンポジストは3名の先生による講演で、金子泰英先生からは『CGF、AFGを応用したピエゾサージェリースプリットクレストテクニック』、歯肉の連続性を考慮してインプラント治療を行なった症例の手術の動画を交えて解説して頂きました。山田陽子先生からは『鼻腔底下ブロック骨移植を併用したGBR法—上顎前歯部、小白歯部欠損症例—』、インプラント埋入に近い部位から低侵襲にブロック骨を採取する方法を解説して頂きました。熱田

互先生からは『天然歯を利用した顎堤保持についての考察』、文献に基づいて行なった顎堤保持に考慮した抜歯即時埋入について解説して頂きました。

午後は東京都千代田区ご開業の塚原宏泰先生の特別講演がありました。

演題は『総合的治療の実践を目指して—インプラント治療を中心に—』、口腔外科専門医、総合医として患者の生活背景やライフステージに考慮した臨床の症例を交えて、PRGFを併用したインプラント治療の講演をおこなって頂きました。術者、患者ともに快適性を重要視して、口腔外科専門医でありながら低侵襲な手術を行なっている部分に感銘を受けました。

定例研修会後の懇親会では塚原先生にもご参加頂き、楽しい時間を過ごさせて頂きました。

今回も勉強させて頂きました。ありがとうございました。